

地域デビューを再考する

2007年社会的な問題課題として取り上げられた団塊世代の退職に伴う地域の受け入れがいろいろな形で行政は積極的な施策を展開した。しかながら、どこでも思うような成果がでなかった。ここでもう一度地域デビューの在り方を考え検討し、今後の取り組み・方策を提案したい。

せたがや生涯現役ネットワーク を再考する

2007年社会的な問題課題として取り上げられた団塊世代の退職に伴う地域の受け入れがいろいろな形で行政は積極的な施策を展開した。しかながら、どこでも思うような成果がでなかった。ここでもう一度地域デビューの在り方を考え検討し、今後の取り組み・方策を提案したい。

せたがや生涯現役ネットワークへ

- 今年度の申告制プロジェクトに提案申請する
- 助成金は年1万円が限度であるが、申請する
- この制度は他の団体との共同提案が必要
- 地域デビューの会が中核となって展開する
- パートナーはドットネット＋応募団体（募集）
- 2ヶ月に一回程度の会合開催（または活動）
- 都内の3, 4自治体訪問・ヒアリング調査（候補として、調布市、八王子市、品川区、渋谷区など）

具体的な活動内容

- 世田谷区の取り組みを再確認
- 現状の問題点を抽出・確認
- 他の自治体の取り組み等の情報集約
- 他の自治体の取り組みを参考に取り入れるものがあるかどうか検討する
- 現在進行中の「せたがやシニア現役プロジェクト」との連動を考える

研究会の団体イメージ

2ヶ月に一回程度活動

参加募集

NDS
すま研

おとなり編集

地域デビュー
の会

生涯現役
ドットネット

参加人員8名の場合
40000円+補助金
1万円合計50000円

団体として参加し、
メンバー制で一人
年5千円納付して
いただく。この資
金で活動費を賄う

参考：世田谷地域デビューの会



京 ☆ 2017年(平成29年)3月30日(木)

補助金や実務面で活動サポート

地域の町会活動をサポートするため、渋谷区は新たに地域活性化条例を制定する。町会は住民同士の交流や地域防災・防犯対策の中心だが、役員の高齢化や加入者の減少が課題となっているという。区は条例案に、補助金交付のほか、事務手続きや経理など実務面の人的支援に取り組み規定を盛り込んだ。開会中の区議会で31日に可決され、4月から施行される見込み。

渋谷区が町会支援条例

民をつなぐ機能を果たしてきた。高齢者の見守りや区の情報掲示板の管理といった、行政との連携役も担っている。しかし、区内は住民の入れ替わりが頻繁で、特に若い世代で町会に加入する人は減少している。会長など役員の引き受け手が見つからず、10年以上にわたり特定の人が役員を務めるケースも珍しくないという。

住民同士の連携促進 来月施行へ

援に動きやすくなる。区は職員による支援のほか、区内の公認会計士や税理士を会計業務のボランティアとして紹介したり、子育て中の母親でつくる団体に呼びかけ業務の一部を請け負ってもらったりするなど、住民同士の連携を図る考えも示している。条例案には、転入者に町会活動を紹介するため、不動産業者に協力を求めることも盛り込んだ。

同様の条例は品川区が昨年4月から導入している。新規事業や物品購入などの補助金を新設し、約60件400万円ほどの申請があったという。【五味香織】

菅野 達夫 ▶ 世田谷地域デビューの会
3月30日 · 図

世田谷区は、区民の反対で条例化を見送りにしたが、地域の絆をどのように運営したらいいのか行政と町内会との連携活動について根本的な見直しの時期にきている。

いいね! コメントする
伴場 吉之さん、岡崎 宏さん、小林 雅一さん
コメントする... GIF

- 大塚 雅也
- 上野 一夫
- 寺田 美穂子
- 市川 徹
- 志田 有恒
- 藤田 秀一
- Eri Shingal
- 伴場 吉之
- 佐伯 京子
- 今田 千秋
- 小林 雅一
- Kay Simpson
- 室田 智男
- 岡崎 宏
- 菅野 達夫
- 野田 尚利
- 江藤 剛子
- 高山 健太
- 貞貝 聖樹



調布市の例 2017年3月12日

ビュー講座があるのですが。

そんな方々のために、私は「地域デビュー心得12カ条」を作り、講座でお話しています。それを基に、地域デビューのコツを2回に渡って紹介することにしましょう。

地域デビュー心得12カ条

- 第1条 まず行動する
- 第2条 地域の探検散歩に出かける
- 第3条 自治体や町会主催のイベント・行事に参加する
- 第4条 好きなこと、やりたいことを考える
- 第5条 仕事も役職も会社の自分を忘れる
- 第6条 自分の意見をいう
- 第7条 相手のいうことを頭ごなしにNOと言わない
- 第8条 最初から難しいことはしない
- 第9条 “きょういく”と“きょうよう”を心掛ける
- 第10条 自治会やマンション管理組合の運営に参加する
- 第11条 IT活用能力を高める
- 第12条 自分に合わないと思ったら止める

部下・後輩とのオフコミュニケーション

[2017/05/15更新]

コマンドリー ド ボルドー in 東京

[2017/04/29更新]

茎の部分が長い「スティックブロッコリー」の中華炒め

[2017/01/06更新]

「授雲が教えます!開運するためにこれだけ実行すれば大丈夫!願いは叶います」必見!無関心から信頼に向かうプロセス⑧苦しい時こそ磨かれる人脈の作り方

[2016/12/30更新]

家事代行「タスカジ」を活用してみた

[2016/12/28更新]



📘 このページに「いいね!」

「いいね!」した友達はまだいません

> 大学生へのボランティアネットワーク

> 専門家ボランティア

> 活動資金

> 企業による共助・地域貢献

> セミナー&イベント

> リンク集



アクティブシニアの社会参加支援事業

高齢者は、「社会に支えられる」側というイメージを変え、これからは「社会を共に担う」側として活躍していただくことが必要となってきています。

そこで、埼玉県ではアクティブシニアの社会参加支援事業をスタートし、ボランティアや地域活動、就業などシニアの「地域デビュー」を後押しする取組を積極的に行う7市町村をモデル市町村として支援しています。

これらの取組により、より多くのシニア世代の方々が豊かな知識や経験をいかして活躍できる社会を目指します。

平成28年度事業の概要



アリアの最新ニュース

松本すみ子の講演・セミナー・担当予定と実績:2015年

もっとも人口の多い団塊世代が高齢者の仲間入りをした今、彼らを中心としたシニア世代を単なる高齢者とみるのではなく、その力・知識・経験をどのようにしたら活用できるのか、彼ら自身が生き生きと活動できる環境は何か。これは今後の日本社会の大テーマです。

アリア・松本すみ子は10数年に渡り、①企業やシニア市場、②行政・自治体、③当事者である団塊シニア、④大学・研究機関、⑤日本と同じ高齢化社会を迎える諸外国などに向けて、団塊シニア世代の動向・市場分析や提言・提案、講演、講座の企画・運営などを行って来ました。



団塊シニアに関する講演、セミナー、シンポジウム、対談、イベント企画、市場調査・分析、執筆などが必要になった場合は、お気軽にお問合せください。

◆2015年12月

- ・12月6日(日) 三井不動産レジデンシャルセミナー
テーマ:コミュニケーション
- ・12月11日(金) [埼玉県川口盛人大学](#)
テーマ:地域を見つける、地域で輝く!
- ・12月13日(日) [埼玉県桶川市](#)市民活動セミナー1
テーマ:わがよきセカンドライフのを見つけ方
- ・12月17日(木) 大和証券セミナー

新しいウィンドウ

新しい InPrivate ウィンドウ

拡大 — 175% +

デバイスにメディアをキャスト

ページ内の検索

印刷

このページをスタートにピン留めする

F12 開発者ツール

Internet Explorer で開く

フィードバックの送信

拡張機能

新着情報とヒント

設定

つるがしま TOWNTIP

プロジェクト | ブログ | トモダチ | タウンTV

文字の大きさ [お問い合わせ?](#)

- トップ
- ブログ
- マチコミMAP
- マチカレンダー
- 映像情報
- 友人を招待
- ランキング

- マイホーム
- マイブログ
- メッセージ
- お気に入り
- あしあと
- プロフィール
- 設定変更

○ まちログ 746つながり | 65プロジェクト

まちについて考える、伝える、力になる TOWNTIP

タウンチップは、「新しい公共」の創造に向けて、地域が共感・共鳴・協働する「まちづくり」を推進するためのテーマ特化型のソーシャルネットワークサービス(SNS)です。 >>さらに詳しく

タウンチップの4つの楽しみ方

- 地域情報を見る投稿する
- 地域プロジェクトに参加する
- 地域活動を応援する
- 寄附や地域活動でポイントをもらう

タウンチップ活用ガイド

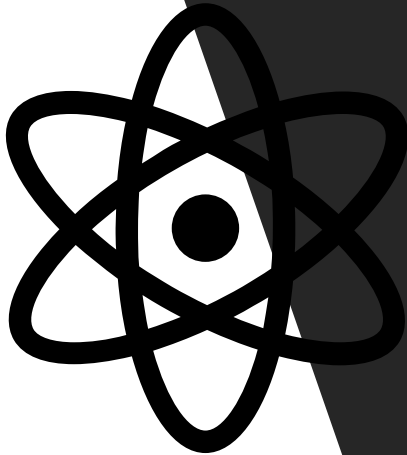
地域協働ポータルサイト TOWNTIP

ようこそshinさん

[プロフィール確認・編集](#)

タウンチップからお知らせ

人生の可能性とは



- 長寿化時代においては、人生に新しいステージが出現します。人間の生物的条件から言えば、引退年齢が70～80歳にならなければなりません。仕事をする期間が長くなり、働き方も画一的ではなくなります。だから、選択肢の幅も広がらなければなりません。
- 勉強するのは若いときのことであると考えている人が多くいます。しかし、これからは、高齢者の独学が重要な課題になります。高齢者は、それまで得た知識のストックを保有しているわけですから、新しい知識を吸収し、それを解釈し、それを活用することを、若い人よりは容易にできるはずです。
- 野口悠紀雄(のぐち・ゆきお)